

国立市 富士見台地域 まちづくり

第6回 富士見台ミーティング

【実施報告】

● 開催概要

- ・日 程：2024/7/11(木) 19:00~21:00
- ・場 所：矢川プラス 多目的ルーム
- ・当日参加人数：21名



● 当日のプログラム

- ① 開会あいさつ
- ② オリエンテーション
 - ・今回の富士見台ミーティングの趣旨説明
 - ・富士見台地域の参加型まちづくりについて
 - ・市民まちづくりプロジェクト 100 について～新しい参加のツールづくりへの挑戦「クラブサバブ」～
- ③ 市民まちづくりプロジェクト 100 の紹介
 - ・富士見台地域重点まちづくり構想と市民まちづくりプロジェクト 100
 - ・新しい参加のツールづくり「クラブサバブ」の挑戦
 - ・展開していくまちづくり活動「市民 100 プロ」
- ④ 意見交換「市民まちづくりプロジェクト 100 の今後の可能性を語ろう」
- ⑤ まとめ・閉会



- ・もうどこかでやっているかもしれないが、ドイツの街にあるような「クリスマスマーケット」を開催したい（小規模でもよいので）
- ・商店街とクリスマスマーケットをしたい
- ・学生をまきこむ、パパママ世代をまきこむ
- ・親が一人でも参加できる
- ・楽しいところや集まれるところ
- ・学生は新生で定期的に入れ替わりがある

○商店街でのコミュニティづくり

- ・商店街でのお買物を通じてのコミュニティ

○クラブサーブを継続させるしくみがあると良い

- ・クラブサーブで出会った人々が集まる場を定期的に設けたら、輪の広がりもさらに大きくなる？
- ・定期的に集まる場があると良い
- ・毎年30人だと広がり難いので、参加メンバーがさらに次のクラブサーブをつくっていける仕組みがあるといいなと思いました（市公認制度？サポート）
- ・意識が高くておしゃれじゃないと参加できないのかなと感じる
- ・閉鎖的に感じる
- ・地域の課題へのアプローチをしてはどうか
- ・地域課題のどんなことに効果あるのかなど、分かりやすいと参加の層も広がるのではないかな
- ・クラブサーブは名前がかっこよすぎて、参加しにくい。「こくカレ」はわかりやすい（「こくカレ」はこくぶんじカレッジの略）
- ・人間環境キーステーションは、Facebookでやりとりをしていたが、ディスコードになった。本名ではないコミュニティのため、卒業生コミュニティはFacebookがよい
- ・商店街や他の取組とコミットして行った方がよい

○会社員でも関われる立ち寄れる場所

- ・通勤・帰宅中に気軽に立ち寄れる場所
- ・65歳以上でも30年まちにいる時代。その層も参加しやすくなると良い
- ・40代くらいの会社員の人でも無理なく参加できればいいと思います
- ・身の丈で参加できる
- ・無理なく参加できる

○ライトな関わりができると参加がしやすい

- ・「身の丈」で楽しく続けられること
- ・人と人の交流を主眼にハードルが低いこと
- ・オフ会がともなうこと
- ・よりライトに関わる人が増えていけるとよい
- ・卒業生のコミュニティ
- ・交流はどんなツールを使うのかも大切

○**子どもも大人も楽しい居心地のよい場・時間**

- ・子どもにとって楽しく、同時に大人にとっても居心地良い空間・時間（宿泊施設があったら楽しいかも！）
- ・自宅では人を呼びにくい
- ・宿泊施設があると近隣や遠い人とも活用できそう

○**裸足で遊べる町**

○**満月の夜は電気を消して月・星見会**

○**音楽フェスができればいいな**

○**ランチルーム（大人こそ、給食を食べたい！）**

○**ゴミ拾い×パフォーマンス**

- ・ゴミ拾いが趣味なので、司会の方がゴミ拾いも「まちづくり」とお話いただけたこと、とても勇気づけられました。
「ゴミ拾い」パフォーマンス（踊ったり歌ったり+ゴミ拾い）が広がるとおもしろいかも
- ・ゴミ拾いも挨拶もまちづくりになる

○**朝ヨガなどの健康に感ずる取組後に朝ごはんをみんなで食べる**

- ・自由に健康に取り組むという体制が整うと良いと思う。ラジオ体操だけでなくさくら通りを中心に各公園で「朝ヨガ」などを行えると良い。参加の後朝ごはんまで一緒に食べるコースだとさらに良い

○**身近なところで気軽に立ち寄れる場があると良い**

- ・歩くのがゆっくりな高齢者、手を繋いで歩かないといけない子どもは生活圏のなかでも徒歩圏内にコミットする場があると出向きやすい

○**国立らしいサイン類を増やす**

取り組みを広げていく上で課題になりそうなこと

○入口づくりのあり方をどうしていくのか。まちとの接点、人との接点の工夫が必要

○初めての人でも入りやすい場をどのようにつくるか工夫が必要

- ・目新しいお店やイベントに市民が一步踏み込む背中を押す何かが必要では。ドキドキして入れないかも
- ・周知
- ・初めての人でも参加しやすい雰囲気
- ・熱量の差をどう納得していくか
- ・まちづくりに関心のない人をどう巻き込んでいけばよいのか
- ・そもそも接点がない人をどう巻き込むか
- ・同じ人がローテーションしてやる状態になる。新しい人がなかなか来ない
- ・ドーナツパークでは、”駅舎のことを考える”際に、自分ごとでまちに関わる人達と一緒に取り組みたいと思い、クラブサバブの参加者に声をかけた
- ・おしゃれすぎて入りにくいときがある
- ・お祭りのように、わたあめ、○○屋さんなどはわかりやすく良い

○情報をどう発信し、届けていくのか

- ・情報が上手く人に、市民に伝わっていくにはどうすればよいのか？ネット？口コミ？
- ・コミットメント
- ・情報共有のツール
- ・関わり方
- ・スケジュール調整
- ・ハードルを下げたものにする

○関心に応じた取組があるか

- ・興味・関心に応じた色々なイベントがあるとよい

○継続するためのマンパワーが不足する

- ・団地が中心にあり高齢化の為にマンパワーが不足する

○取り組む際のコストや法、安全性などを考慮する

- ・告知と講師料、場所の確保。クラブサバブにはチャレンジする際ある程度の補助金があるのか？仕組みがわかっておらず思いついたことを描かせてもらいました
- ・法
- ・お金
- ・安全、環境（宿泊施設やるなら）
- ・コスト
- ・危険なものがないか

- ・時間を決めて
- ・騒音

○食に関するイベント時は、つくと食べるのバランスが難しそう

- ・食べる・作るのバランスを取るのが難しそう（つくり過ぎちゃいそう）

○ゴミ拾い×パフォーマンスでハードルを下げる

- ・ごみ拾いパフォーマンス。羞恥心を捨て、ごみを拾うことが最大の課題だと思います
- ・達成感を得やすい
- ・おじさんも子どもも参加しやすい
- ・オシャレだと参加しづらいが、気軽にゴミ拾いできるハードルは低い！
- ・実施したあとの清々しさがある

○矢川・谷保はなにもないというイメージがある

- ・矢川・谷保駅に「何もない」というイメージがあること

○商店街の人や学校と意見交換する場があるとよい

- ・商店街の体制として変化をしにくくなっている。そのため新しいものを持ち込んでもらって良い
- ・商店街などの既存の取組にもアプローチをできると良さそう
- ・小・中学校の先生方や商店街関係者と気軽に意見交換する機会があればよいと思う
- ・お店への入りやすさ
- ・店主のコミュニティ力
- ・飲食店に関わってもらうときは開催時間を考える必要がある
- ・商店街同士の連携づくり
- ・地元とのつながりをつくっていききたいと思う

○市民 100 プロの効果測定をしていけると良い

- ・次年度までは効果が追えますが、その先の効果測定がやはり難しいのかなと感じました
- ・定性的でもいいとは思いますが
- ・行政だけだと持続的に効果測定をすることは難しいかもしれないが、民間とラボつくるなどで解決できるかもしれない
- ・市政で行なっているものだからこそ効果測定をした方がよいと思う
- ・数年単位ではなく長期的に測定できるとよい
- ・一定のタイミングで、発展しましたか？続いていますか？などを聞けると良い

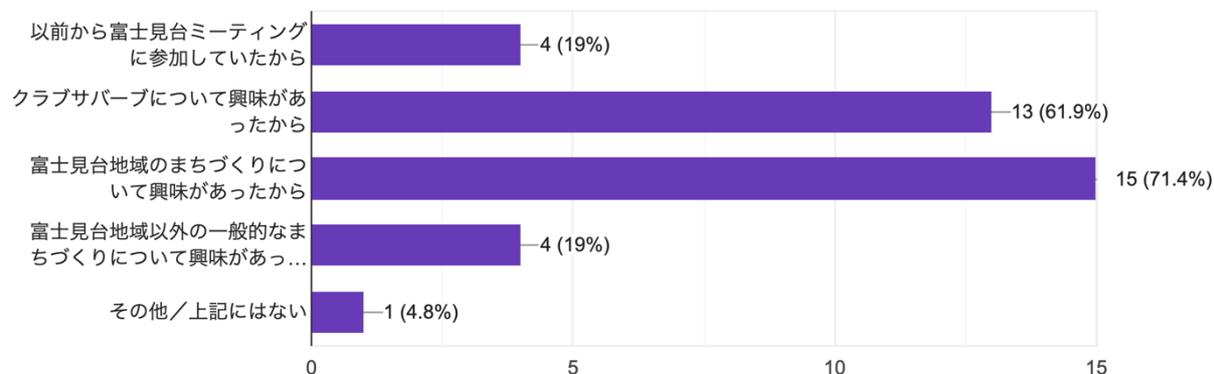
○クラブサバ-ブに関わってまちへの関わり方の変化があった

- ・まちで声をかける人が増えた
- ・市役所で働いていてもまちに関わることがなかった
- ・参加しにくかったイベントに参加できるようになった
- ・他の地域でもまちに関わるようになったかもしれない

● アンケートの記録

本プログラムへの参加にあたって

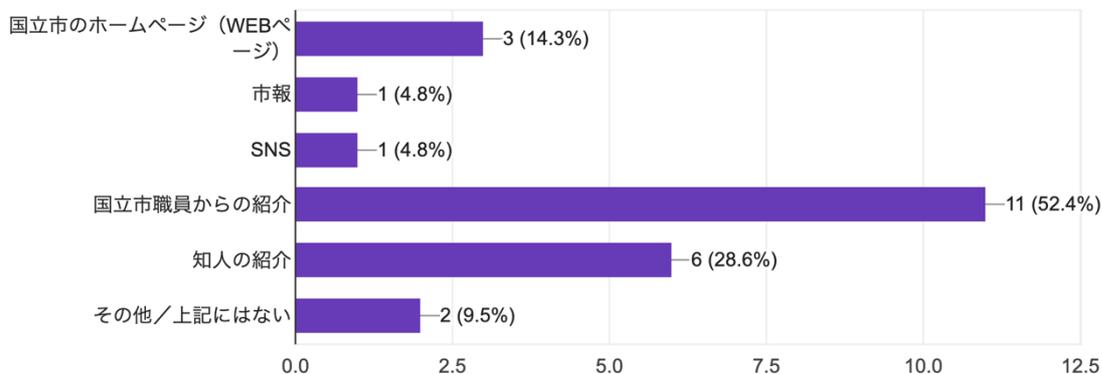
○ 本日参加した動機をお教えてください（複数回答可）



○ 「その他／上記にはない」を選択した方は動機を教えてください

- ・クラブサバブに参加してたから

○ 第6回 富士見台ミーティングの開催はどこで知りましたか



○ 「その他／上記にはない」を選択した方は具体を教えてください

- ・国立市からのメール

本日のプログラムについて

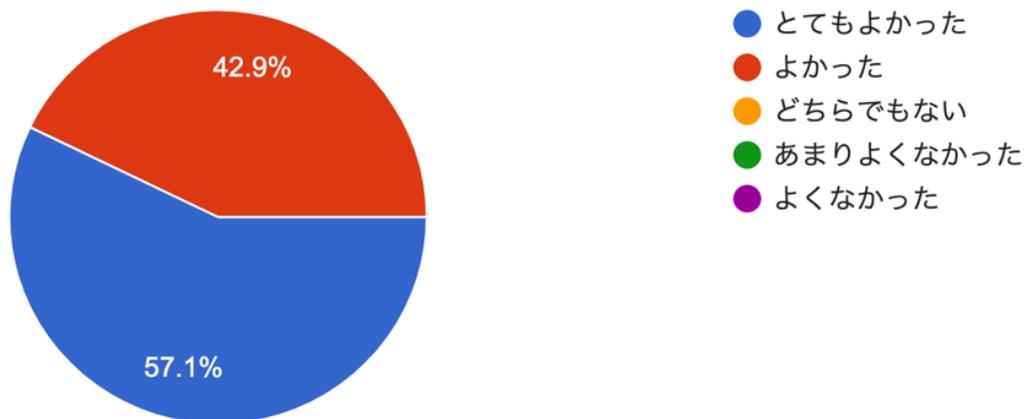
○1_ 「市民まちづくりプロジェクト 100」の説明はいかがでしたか



○2_ 1 で回答した理由を教えてください

- ・前半のスライドがわかりやすかったから。
- ・みなさん自分の住む地域のことを真剣に考えているのでとても刺激になりました。
- ・100 プロ、サブの流れがわかったので。
- ・新しい取り組みを知ってますます国立の魅力を感じた。まちづくりに取り組む人の多さに驚いた。
- ・いろんな意見とその説明が聞けたから
- ・初めて出たのでクラブサブに属するにはどうしたらいいの？属したらどうなるの？という根本がわからなかったです。
- ・100 の意味合いからお話されてたため
- ・写真も、説明も、口頭での補足もすぐイメージが付きやすかったです。
- ・司会の説明がわかりやすく、100 プロのことは初めて知りましたが、良く理解できました。ありがとうございます。
- ・短時間の説明の中でだいたい理解できたように思います
- ・クラブサブから派生した活動について皆さんから企画を集めたと思いますが、タイトルを読んで欲しかったです。(谷保 ZINE、お米パン教室、ポツポツアターなど)また、スライドを白黒でいいので印刷してほしかったです。
- ・”100 プロ”と略していたので、そういう呼び方か！と思い、内容がわかるものが、資料にもう少しあってもよかったですかなと！
- ・司会の進め方、まとめ方がうまい。
- ・実践（活動）されている事例の紹介がよかったです。

○3_ 意見交換のテーマ「市民まちづくりプロジェクト 100 の今後の可能性を語ろう」はいかがでしたか

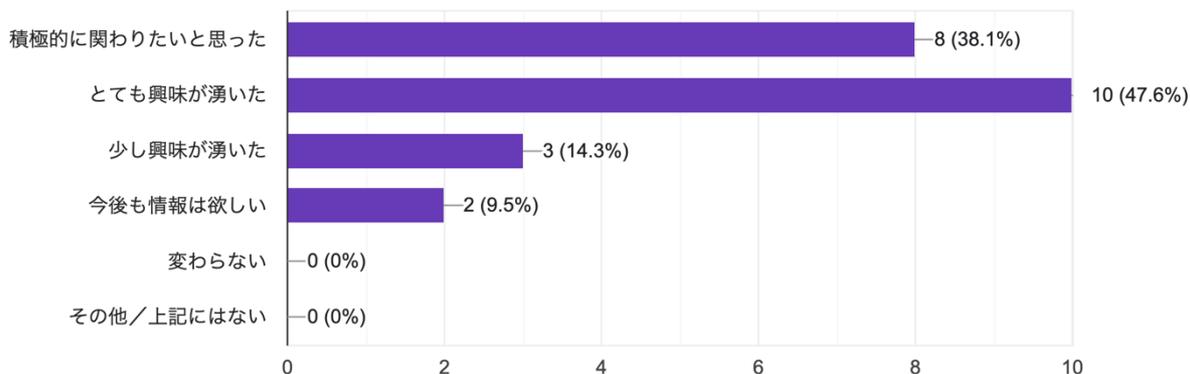


○4_ 3 で回答した理由を教えてください。

また、今後の富士見台ミーティングで話したいテーマなどがあれば、教えてください

- ・司会進行がわかりやすかった。
- ・すでにある地域活動を可視化すること
- ・多様な入口づくり、一度始まった活動への入り方
- ・まちづくりに積極的に参加している方々が多く、それぞれで課題感を感じている方も多かったからこそ、非常に濃い内容だったから。面白かったです。
- ・無理なく参加できた場でよかった
- ・富士見台地域の強みをもっと打ち出していくと良いと思いました。国立駅に比べてではなく富士見台には何があるか？公園が沢山ある。施設も集まっている。そこを強みにしたテーマを絞ってお話ししても良いのでは？と思いました。
- ・自分の頭の中に散々していた考えを、参加された皆さんの付箋が言葉に変換してくれたというか、考えの方向づけをしていただきました。
- ・身の丈でとか、普段から語る場というところに、私が考えている「まちの保健室」がコミットしてくるのでは…と思っています
- ・参加された皆様の書いた付箋の内容やご説明がとても深く、よく考えられていて、まちやまちづくりへの興味関心が高いことが感じられた為です。
- ・参加経験者と未経験者の意見双方が出たこと
- ・いろんな立場の方の話を聞いてよかったです！
- ・それぞれに”良いアイデア”がありそうだったので、もっともっと話し合いたかったです。
- ・参加者にそれぞれ個性があって、よかった。
- ・今日も出てきたシニアがどうしたら参加できるかというテーマが良いと思いました。

○5_ 本日参加して、今後の富士見台地域のまちづくりについて感じたことを教えてください



○「その他／上記にはない」を選択した方は具体を教えてください

・回答なし

○その他、感想などございましたらご自由にご記入ください

- ・高齢者の方と関わるのをやりたいと思いました。麻雀大会に混ざりたい。
- ・参加させて頂き、ありがとうございました。
- ・ずっと続くイベントになればよいなと思います。ありがとうございました。
- ・商店街の方の見方を知ることができ良かったです。
- ・クラブサパーブのネーミング、私は素晴らしいと思います。ハードルの低い入口は別の存在に任せればよいと思います。
- ・商店街など、既存の存在への入り方は、重要な視点だと思いました。
- ・新しい物も大事だが地元の活動にも注力して欲しい
- ・説明会と理解しています。初参加の人への具体的な説明があると良いと思いました。
- ・商店街の方々の意見がここで聞けたのは非常に貴重でした。もっとこの中で話された内容に関心持ってもらえる情報発信がいろんな場でできると良いと思いました
- ・初めて国立市のまちづくりのイベントに参加者として参加しましたが、様々な年代の方が参加されて様々な意見があつて良かったと思いました。
- ・ファシリテーターの方が最後に「入り口の在り方」についてお話されましたが、多様な方が、気軽に参加できる様に、間口の広げ方やハードルの下げ方を、じっくり考えてみたいと思いました。ありがとうございました。
- ・今後も参加側でない人の意見が多く集まるといいように思いました
- ・お疲れさまでした！参加して良かったです。
- ・エリアエリアの課題を解決しながら、楽しく広げられる活動が続けられると良いなと思いました。
- ・ファシリテートが上手で良かったです。